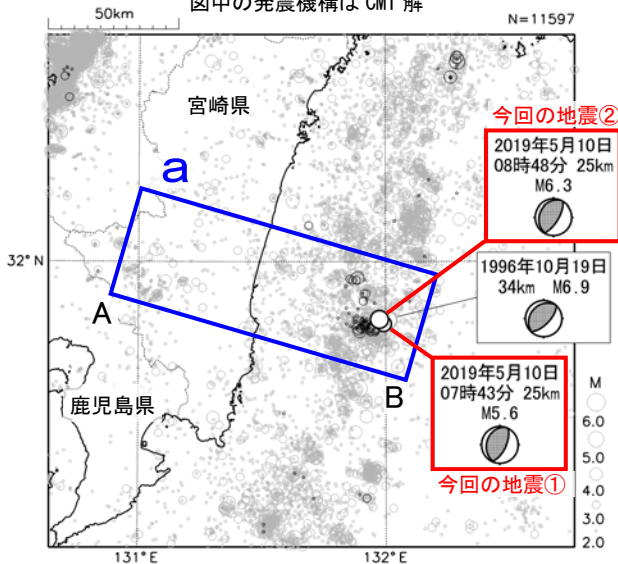


## 5月10日 日向灘の地震

震央分布図  
 (1994年10月1日～2019年5月31日  
 深さ0～100km、M $\geq$ 2.0)  
 2019年5月の地震を濃く表示  
 図中の発震機構はCMT解

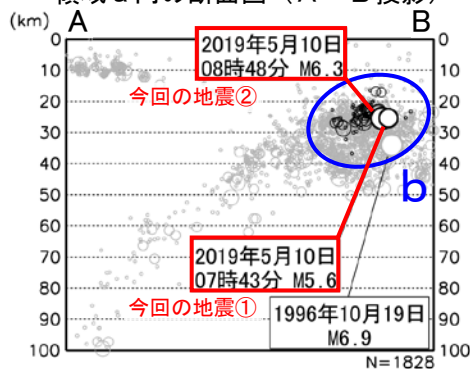


2019年5月10日07時43分に日向灘の深さ25kmでM5.6の地震（最大震度3、今回の地震①）が発生した。また、同日08時48分にはほぼ同じ場所でM6.3の地震（最大震度5弱、今回の地震②）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、軽傷者2人の被害が生じた（5月17日現在、総務省消防庁による）。

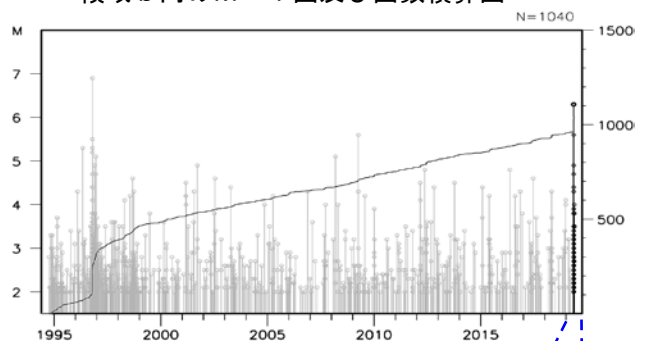
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5.0以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に今回の地震とほぼ同じ場所で発生したM6.9の地震（最大震度5弱）では、高知県の室戸岬で最大27cm（最大全振幅）の津波を観測した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1931年11月2日に発生したM7.1の地震では、死者1人、負傷者29人などの被害が生じたほか、高知県の室戸岬で最大85cm（最大全振幅）の津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

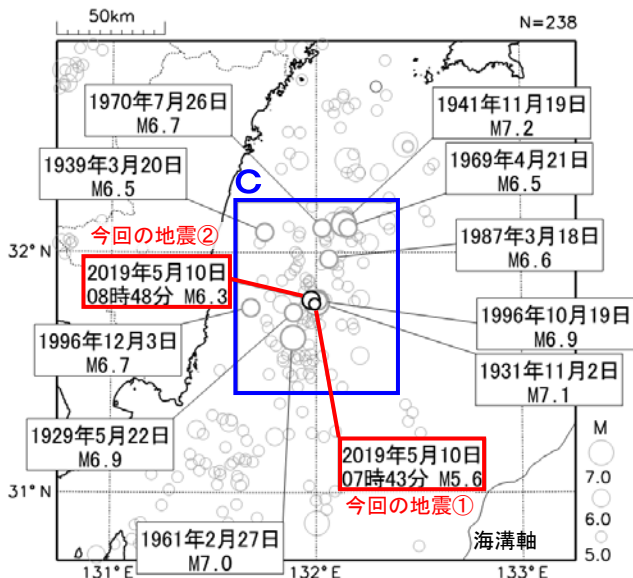
領域a内の断面図（A-B投影）



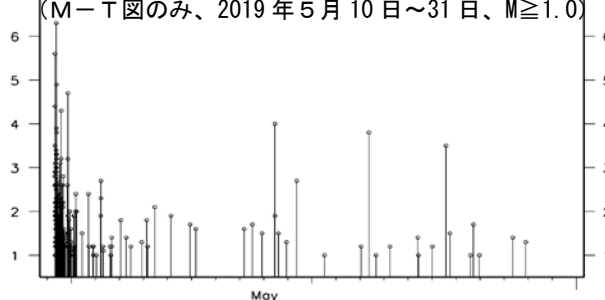
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1922年1月1日～2019年5月31日、  
 深さ0～100km、M $\geq$ 5.0)  
 2019年5月の地震を濃く表示  
 今回の地震とM $\geq$ 6.5以上の地震に吹き出しを付けた



M-T図のみ、2019年5月10日～31日、M $\geq$ 1.0



領域c内のM-T図

